

(様式6-1)

## 実績概要 (ホームページ掲載用)

|            |                                 |
|------------|---------------------------------|
| 研究又は活動のテーマ | 地域のバリアフリー化と交通安全を考える地域点検・マップ作り活動 |
| 助成事業者      | 宮崎産業経営大学法学部                     |
| 代表者        | 宮田浩史                            |

(目的) 大学の教員と大学生が協働し、地区内における交通安全上の危険・安全箇所及びバリアフリー化の必要性箇所の点検及びマップ作りを実施し、さらに地区自治会や自治体関係者との関わりにつなげることで、地区の安全を多面的に確認し住環境を整備するとともに地域の魅力を再発見する。

(概要) 本年度は2年間の活動計画の初年度にあたり、参加メンバーのマップ作りのスキル獲得と同時に、フィールドワーク及びマップ作成によって大学生の安全意識の変化や地域に対する愛着意識の高まりなどを検証し、次年度以降につなげることが重要と考えていた。マップ作成の専門家である谷端講師の全面的な協力を得るとともに、できるだけ学生主体で学生目線でマップを作ることとした。そのため、学生は自らマップ作成対象となる地理的範囲や調査手段、ひいてはどのようなマップを作成するのかを議論によって決め、マップ作成終了後は、「今回のことで自分が日ごろ通学しているときの目線や交通意識が大きく変わった」「もっと多くの人に伝えたい」という意見が出て、学生の意識が変わったことがうかがわれた。

また、法学部の学生であることから、マップ作成と法的視点の関連性も検討され、谷端講師からは、「これまでにない全く新しい視点」という評価をいただいた。

なお、マップ作成終了後に地元小学校との連携を模索する予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大という想定外の事情が発生し、次年度以降の課題となった。